

世界代表司教会議（シノドス）第 15 回通常総会 「若者、信仰、そして召命の識別」準備文書の質問

本質問の目的は、「権限ある」当該機関が、若者の世界に対する理解を表し、召命（司祭・修道者及び、信徒としての一般的な神の呼びかけ）に同伴するという経験を考察する際の助けとなることです。これは、シノドスの作業文書すなわち「討議要綱」草案を作成するための情報収集を意図しています。

日本カトリック司教協議会青少年司牧部門では、青少年司牧にかかわる担当司祭や教会内外の青年が質問に答えやすいように、シノドス準備文書に掲載された質問の中から、日本の教会として回答が必要な事項を抜粋し、また、わかりにくい質問については表現を変え、質問書の改訂版を作成いたしました。以下の点に留意し、ご回答くださいますようにご協力をお願いいたします。

- ・ 項目毎に最大 1 ページ以内でまとめてください。必要に応じて資料を別に添付することもできます。個人で、または複数で分かち合って作成してもかまいません。
- ・ 翻訳文書にある「1. 統計データの収集」の質問事項については、日本全体のデータを青少年司牧部門で作成いたしますのでこの質問項目からは省いています。
- ・ それぞれの質問事項の前に主な回答対象者を（ ）にて表していますが、それぞれの教区、修道会で回答できる項目にご回答ください。
- ・ 質問事項の提出方法は以下の通りです。

①書 式： 自由（教区名（修道会名）、回答者名を明記してください）

②締 切： 2017 年 7 月末日必着

③送付先： 日本カトリック司教協議会 第 15 回シノドス代表参加者 勝谷太治宛
〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10

カトリック中央協議会 司教協議会秘書室気付

FAX 03-5632-4465 E-mail gensec@cbcj.catholic.jp

（なるべく E-mail 送信していただけますと助かります）

質問事項

（司牧者による回答）

1. 状況を考察する

a) 若者、教会、社会

1. 教会は、どのような方法・手段で、若者の現実を把握していますか。
2. 今日の日本における若者にとって、人生を歩む上で起こりうる課題と、それらを乗り越えることができる機会はどのようなものがありますか。
3. 教会の組織の「中」で（例年行われているか否かにかかわらず）、どのような若者の集まりが、大きな成功を収めていますか。それはなぜですか。

4. 教会の組織の「外」で（例年行われているか否かにかかわらず）、どのような若者の集まりのものが、大きな成功を収めていますか。それはなぜですか。
5. 今日若者が、教会に真に求めている（内面・外面）のはどんなことですか。
6. 今日若者が、小教区、地区、教区などの教会共同体で役割を担って活動するには、どんな参加の仕方や可能性がありますか。
7. 教会に来ない若者（教会から離れた青年、まだ洗礼を受けていない青年）と、どのようにしてつながりを持つことができますか。またつながりをもつことができる場所や機会があれば書いてください。

（司牧者による回答）

b) 若者のための召命司牧プログラム

8. 家族や小教区は、どのように若者の人生の選択（広い意味での召命）に関わっていますか。

（9・10の回答は教育関係者でも可）

9. （ミッション校やコレジオなども含む）小・中・高等学校、大学、その他の教育機関は、召命の識別において、どのように若者の養成に貢献していますか。
10. デジタル世界が発展し、社会や文化に変化が生じてきています。それをどのように考えていますか。
11. ワールドユースデーや他の国内外のイベントは、通常の司牧活動にどのように組み込まれていますか。
12. あなたの教区では、どのように若者のための召命司牧プログラムを計画していますか。

（司牧者・召命担当者・神学校関係者等による回答）

c) 若者に寄り添う司牧従事者

13. 聖職者や他の養成に携わる人は、どのくらいの時間を個人的霊的指導に使っていますか。またそれをどのような方法で行っていますか。
14. 若者の養成のための取り組み、計画、行事の中で、召命司牧にかかわる人々のた

めに、制度化（年間計画に入っている等）されたものがありますか？

15. 神学校においてどのような個人指導（霊的指導を含む）が行われていますか。

（司牧者・青年による回答）

d) 地域別の質問

アジア

1. 日本において、カトリック以外で、若者を引き付けている他の宗教の集りは何ですか。なぜ、またどのような方法で、若者を引き付けているのでしょうか。
2. 世俗主義が優位を占める社会の中で、キリスト教の教えは、どのように日本文化の価値観と結びついていますか。
3. 若者のための司牧活動で、特にメディア、スポーツ、音楽などは、どのように有効活用されていますか。

（司牧者・青年による回答）

2. 活動の分かち合い

1. あなたが現在置かれた状況において、同伴者と共に成長できるような霊的活動の機会を挙げてください（あなたが青年と一緒にいる、青年のための活動は何ですか）。
2. 世界の教会という視点に立って最も興味深く、適切であると思われる活動を、3つ選び、以下の形式に基づいて述べてください。（活動ごとに1ページ以内で回答）
 - ① <説明> 数行で、大まかに活動について述べてください。対象者は誰ですか。どこでどのように活動が行われていますか。
 - ② <分析> 叙述形式でも良いので、重要な要素をよりよく理解できるよう、活動を評価してください。その目的は何ですか。理論的な根拠は何ですか。最も興味深い視点は何か。どのようにそれらを展開しますか。
 - ③ <評価> その活動の最終目標は何ですか。もし達成されない場合の後の展開はどうしますか。なぜ達成されないのでしょうか。その長所と短所は何ですか。社会的、文化的、そして教会のレベルにおける影響はどのようなものなのでしょうか。その活動はどのような意味で重要、若しくは啓発的なものですか。

以 上